甲州市文化財報告書　第９集

# 平成21年度
# 市内遺跡発掘調査等事業報告書

2011年3月
甲州市教育委員会

甲州市文化財報告書　第９集

平成21年度

# 市内遺跡発掘調査等事業報告書

2011年3月
甲州市教育委員会

# 序

甲州市は塩山・勝沼・大和の各地域からなりますが、それぞれが独自の歴史文化を築いてきたため、豊富な文化資源に恵まれている市です。

遺跡についても同様で、市内には勝沼氏館跡・甲斐金山遺跡（黒川金山）の二つの国指定史跡が所在し、他にも多くの遺跡が眠っています。

本書は、平成21年度に国庫補助事業として実施した、市内遺跡発掘調査等事業にかかる報告書です。21年度は10箇所の遺跡について試掘調査等を行っています。

今後も市内遺跡の保護保存が図られるよう、国・県のご指導もいただきながら、発掘調査事業を進めていきたいと考えておりますので、関係各位には一層のご協力をお願い申し上げます。

平成23年3月31日

甲州市教育委員会
教育長 古屋　正吾

# 例 言

1　本書は、平成21年度市内遺跡発掘調査等事業にかかる実施報告書である。
2　事業は、文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金により行った。
3　事業の期間は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までである。
4　本書にかかる出土品、図面、写真等の記録類は、甲州市教育委員会で保管している。

# 目 次

序
例言・目次
第１章　遺跡の所在確認業務について…… 5
第２章　発掘調査等について…… 5
第３章　発掘調査等の概要
　第１節　事業費
　　1　事業経費収支予算書…… 6
　　2　事業経費収支精算書…… 7
　第２節　発掘調査等
　　1　天神堂遺跡…… 8
　　2　御所平遺跡…… 12
　　3　浄土寺遺跡…… 16
　　4　柳田遺跡…… 20
　　5　下萩原浅間塚…… 24
　　6　南原遺跡…… 28
　　7　千手院前遺跡…… 32
　　8　日川水制…… 36
　　9　下於曽八反田遺跡…… 38
　　10　安道寺遺跡…… 42

## 第１章 遺跡の所在確認業務について

平成21年度の甲州市教育委員会における文化財関係組織は、次の通りである。

古屋正吾　甲州市教育委員会教育長
三森克弥　教育委員会生涯学習課長
飯島　泉　生涯学習課文化財担当リーダー
雨宮　亨　生涯学習課文化財担当
入江俊行　生涯学習課文化財担当

開発計画に伴う遺跡の所在確認と、不動産鑑定に伴う遺跡の所在確認については、21年度は109件を数えた。内訳は、開発計画に伴うもの74件、不動産鑑定に伴うもの35件であった。

## 第２章 発掘調査等について

遺跡の所在確認後、周知の包蔵地内において具体的な開発行為の計画がある場合について、文化財保護法第93条及び94条の届出を提出していただき、一部は甲州市教育委員会で立会いとし、9件については試掘調査を実施した。

また、安道寺遺跡については、畑の耕作（果樹の伐根）時に多量の土器が出土し、かつて昭和51年に山梨県が発掘調査を行った地点から近く、同一遺跡と思われるため、土地所有者の了承のもと、土器の取り上げと小規模な発掘調査を行った。

このほか、平成18年度に武田勝頼の墓（景徳院）から出土した経石について、19年度から21年度まで総合調査として資料分析や関係発掘調査を行ってきたが、それらをまとめた報告書を刊行した。

発掘調査等の体制は、次の通りである。

発掘調査担当者　飯島・雨宮・入江
発掘調査・整理作業員
雨宮久美子・長田美代子・栗原礼子・沢登淳子・手塚理恵・戸田ひろ
萩原里江子・深沢茂子・正木なつ子

# 第３章 発掘調査等の概要

## 第１節　事業費

### １　事業経費収支予算書

#### 収入の部

| | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|
| 国庫補助金 | 2,250,000 円 | 4,500 千円の 50% |
| 県費補助金 | 1,125,000 円 | 4,500 千円の 25% |
| 甲州市負担金 | 1,125,000 円 | |
| 計 | 4,500,000 円 | |

#### 支出の部

| | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|
| 報償費 | 200,000 円 | 20,000 円× 2 人× 5 回 |
| 旅費 | 100,000 円 | 10,000 円× 2 人× 5 回 |
| 賃金 | 2,040,000 円 | 外業 7,000 円× 150 人<br>内業 6,000 円× 165 人 |
| 需要費 | 1,393,500 円 | |
| 消耗品費 | 164,000 円 | 調査・整理消耗品 |
| 印刷製本費 | 1,229,500 円 | 報告書 1,500 円× 300 冊× 1.05<br>DPE1,000 円× 50 本× 1.05<br>その他勝頼墓報告書等 |
| 委託料 | 105,000 円 | 出土品分析委託、養生解体 |
| 使用料及び賃借料 | 661,500 円 | 機械借り上げ 31,500 円× 21 日 |
| 計 | 4,500,000 円 | |

## 2　事業経費収支精算書

### 収入の部

（上段:精算額　下段:予算額）

| | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|
| 国庫補助金 | 2,250,000 円<br>2,250,000 円 | 4,500 千円の 50% |
| 県費補助金 | 1,125,000 円<br>1,125,000 円 | 4,500 千円の 25% |
| 市負担金 | 1,187,518 円<br>1,125,000 円 | |
| 計 | 4,562,518 円<br>4,500,000 円 | |

### 支出の部

（上段:精算額　下段:予算額）

| | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|
| 報償費 | 32,000 円<br>200,000 円 | 勝頼の墓委員会報償<br>4,000 円× 8 人 |
| 旅費 | 0 円<br>100,000 円 | |
| 賃金 | 2,416,000 円<br>2,040,000 円 | 発掘 151 日× 7,000 円、整理 226.5 日× 6,000 円 |
| 需要費 | 1,207,235 円<br>1,393,500 円 | |
| 消耗品費 | 141,485 円<br>164,000 円 | |
| 印刷製本費 | 1,065,750 円<br>1,229,500 円 | 勝頼墓報告書 2,000 円× 300 冊× 1.05<br>20 年度報告書 1,067 円× 300 冊× 1.05<br>勝頼の墓説明板印刷 95,000 円× 1.05 |
| 委託料 | 105,000 円<br>105,000 円 | 柱状木製品保存処理等 |
| 使用料及び賃借料 | 802,283 円<br>661,500 円 | 重機借り上げ 679,349 円、仮設ハウス等借り上げ 122,934 円 |
| 計 | 4,562,518 円<br>4,500,000 円 | |

## 第２節　発掘調査等

### １　天神堂遺跡

（１）所在地　　甲州市勝沼町下岩崎番地

（２）調査面積　約10m$^2$

（３）調査原因　ガソリンスタンド改築のための試掘調査

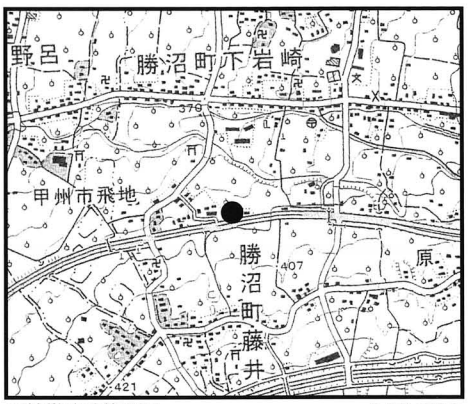
（４）調査期間　平成21年5月7日～平成21年5月13日

（５）調査結果

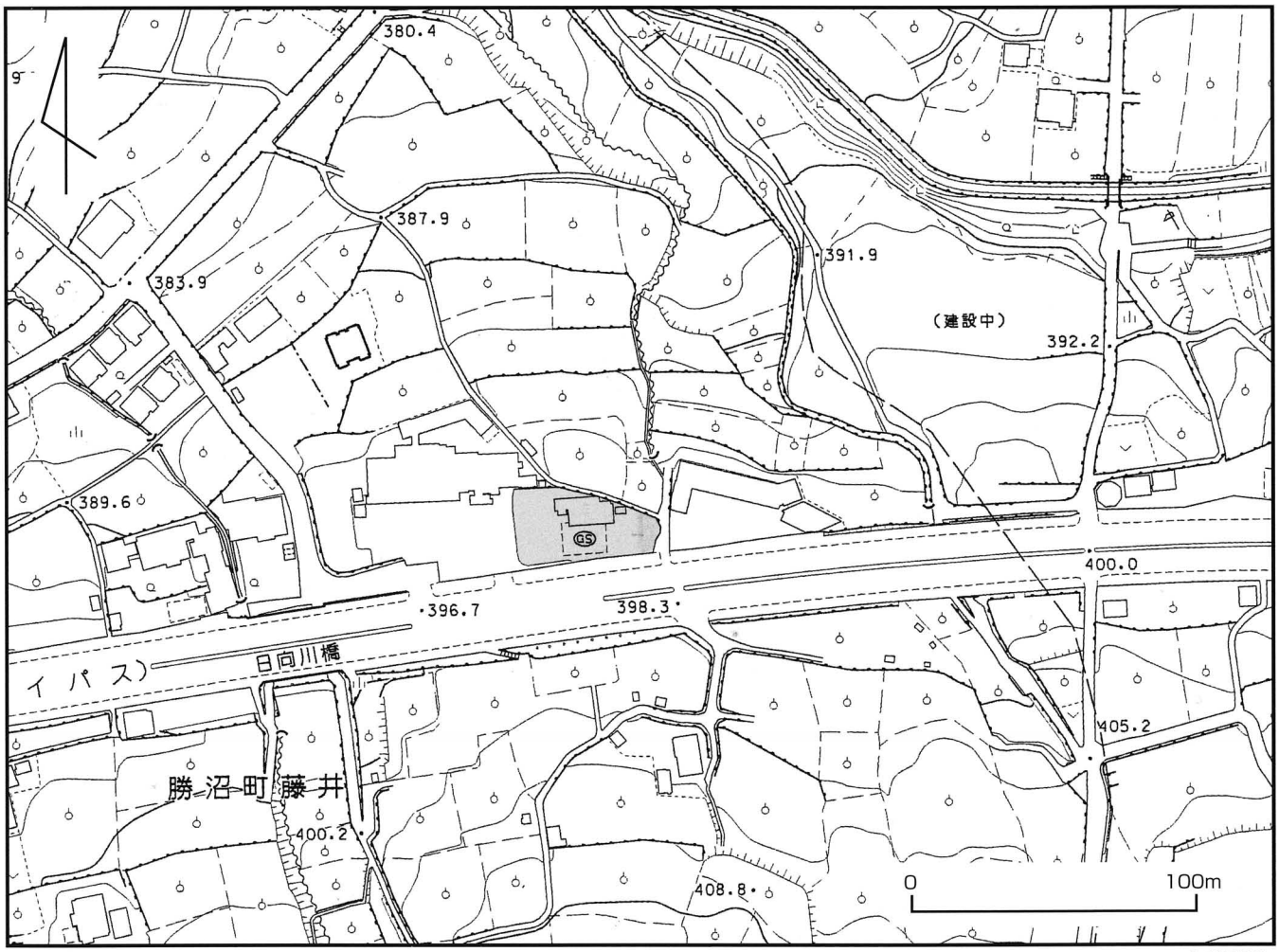
調査地の現状はガソリンスタンド敷地内であったが、建替えの計画があり、新規の建物が建つ場所にトレンチを設定し、遺構と遺物の確認に努めた。

現地はコンクリート舗装がされていたため、まずコンクリートをトレンチの大きさに合わせてカットし、その後重機により掘削を行なった。

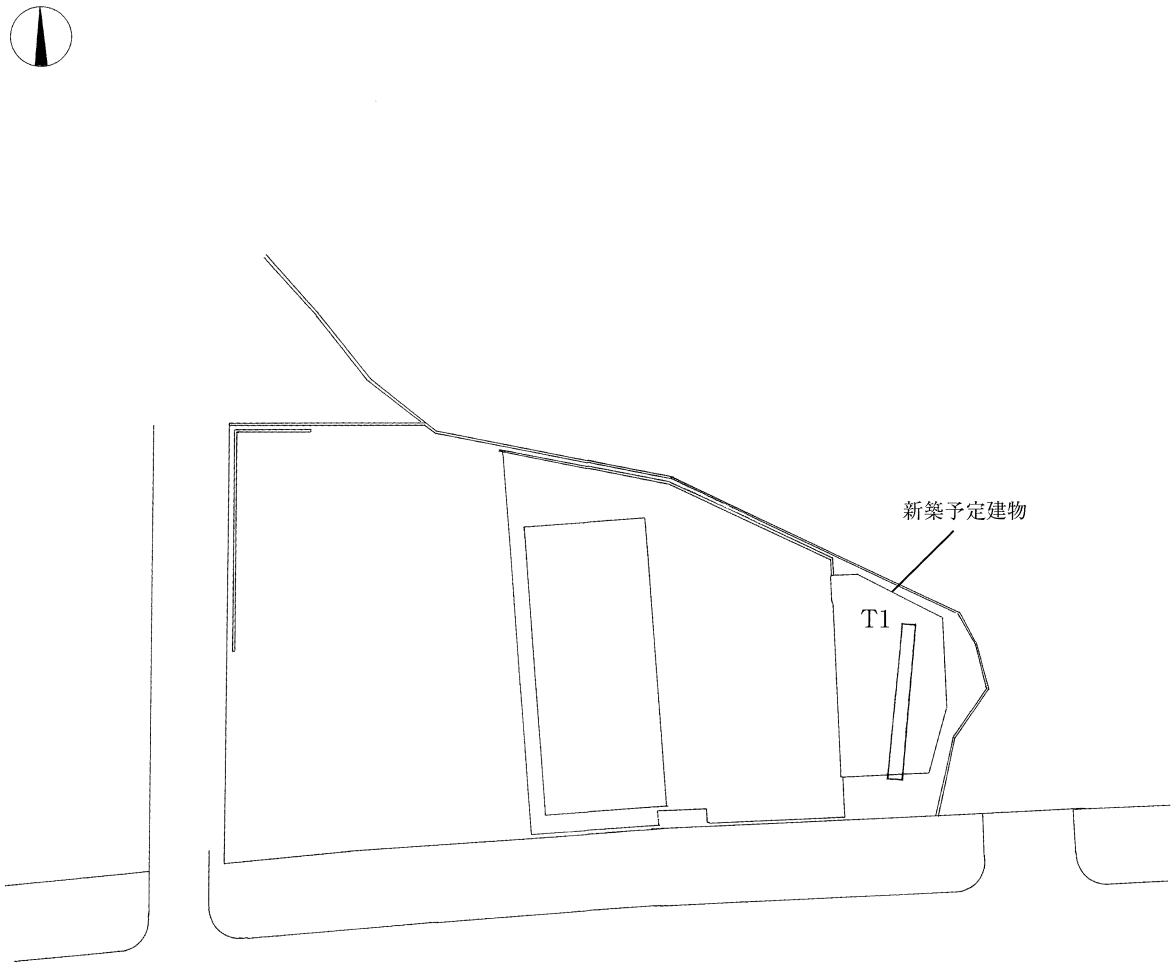
地山は暗褐色の強粘質土で、北側で急激に落ち込んでいる様子が確認できた。自然の地形の落ち込みと見られる。この付近の果樹園から、縄文中期の土器が表採されているが、調査では遺構・遺物とも確認されなかった。



天神堂遺跡位置図　1/25000



1/2500




天神堂遺跡・試掘調査平面図　1/500

0　10m

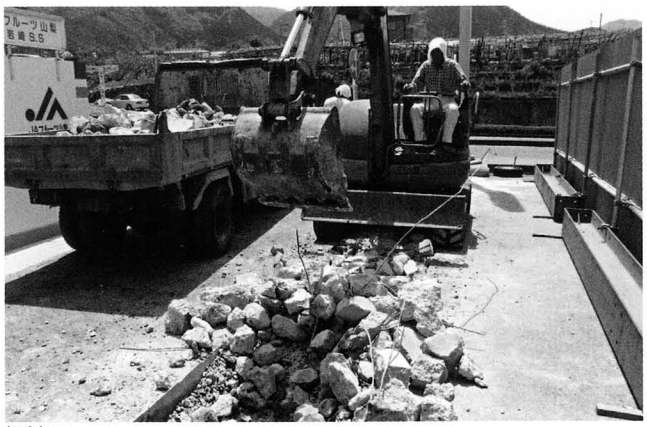
調査前

調査前

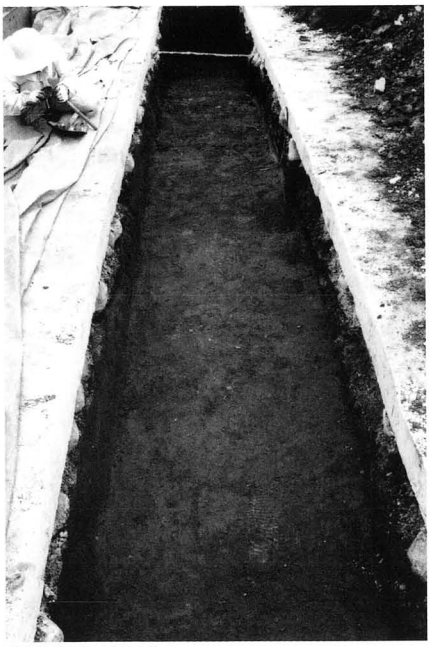
調査前

コンクリートカット

コンクリート破砕


掘削

調査完了　北から



調査完了　南から

調査完了　北側土層

## 2　御所平遺跡

（1）所在地　　甲州市塩山藤木47番地の4

（2）調査面積　約25m$^2$

（3）調査原因　分譲住宅地造成のための試掘調査

（4）調査期間　平成21年7月8日～平成21年7月9日

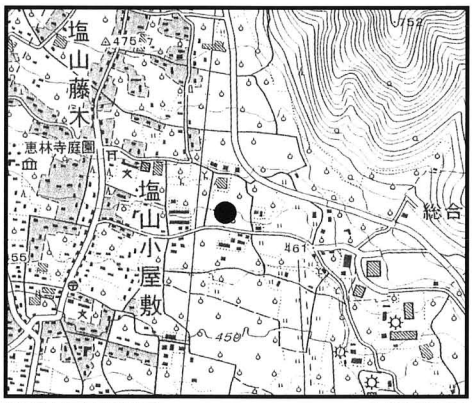
（5）調査結果

調査地は長期間にわたり資材置き場として使用されており、更地になっていたものの廃材が多く見られた。

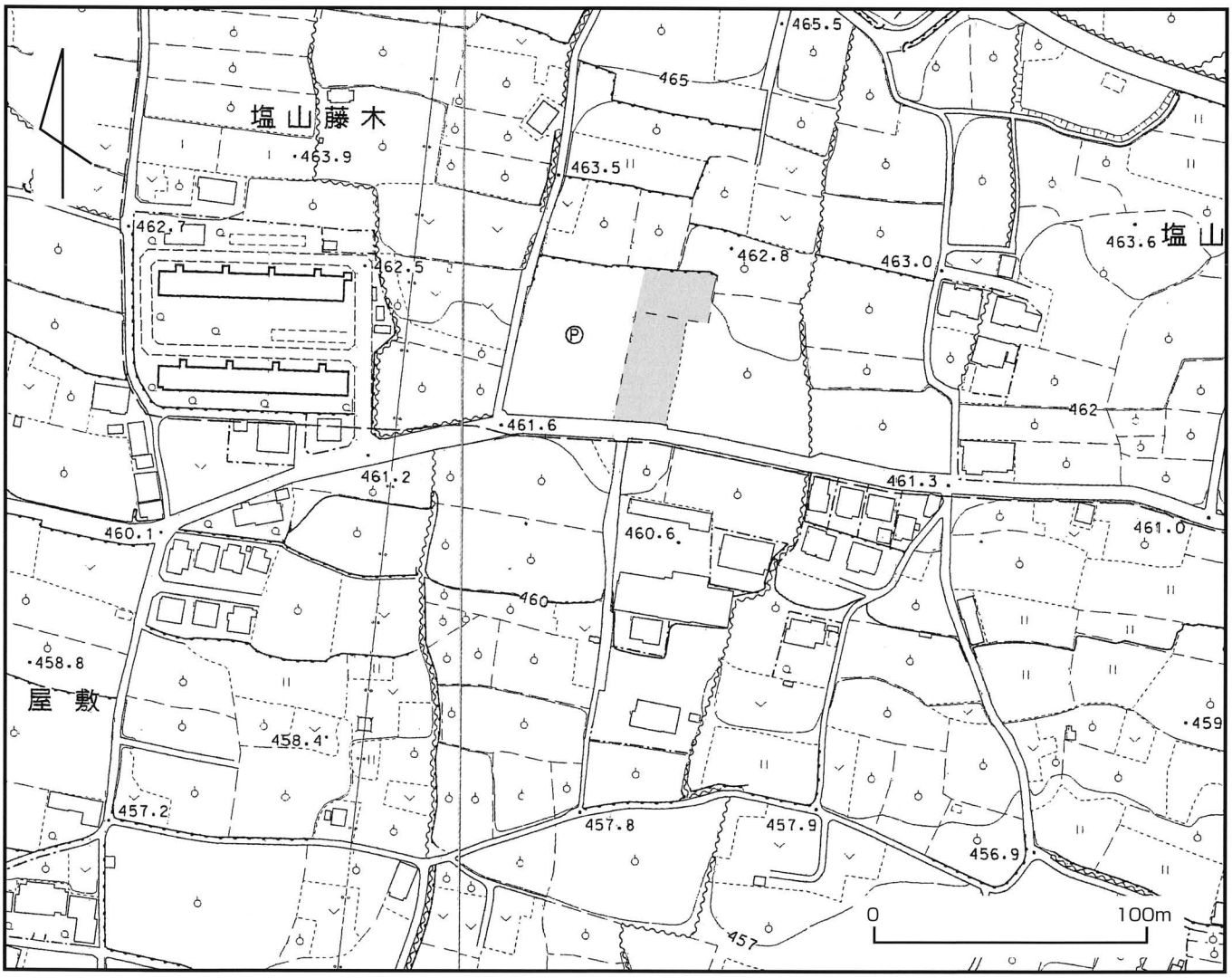
調査は東西方向に3本のトレンチを設定し、重機により掘削を行なった後、人力で精査した。

表土はほとんどなく、一度表土を削ってからバラスを入れたような状態で、地山にも大きなごみ穴が複数個所掘られている関係で残りがきわめて悪かった。

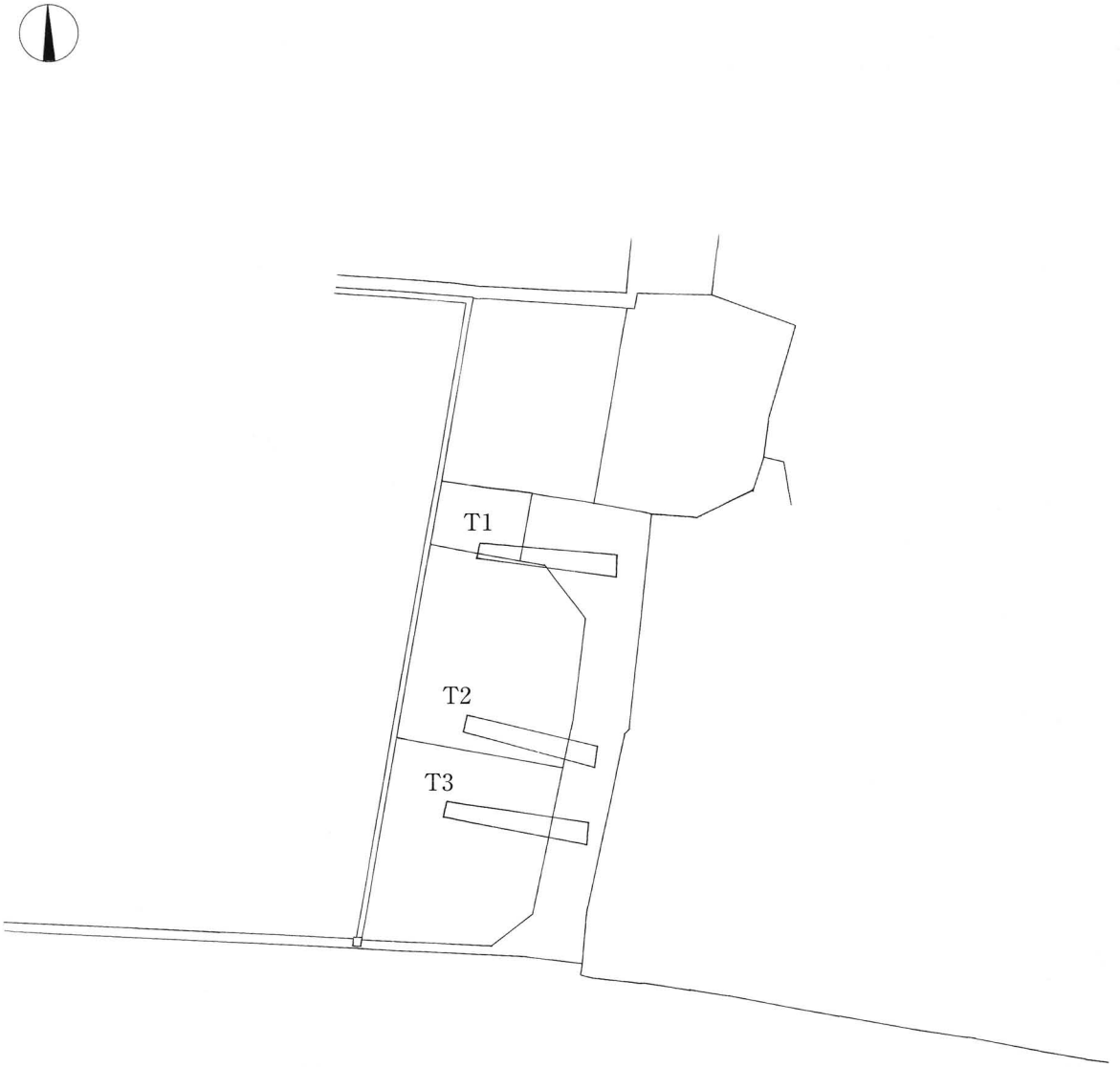
遺構・遺物とも確認されなかった。




御所平遺跡位置図　1/25000



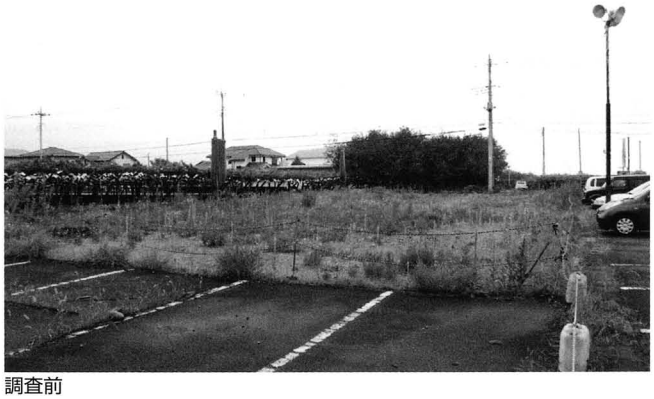

1/2500




御所平遺跡・試掘調査平面図　1/500

0　10m

調査前


調査前

調査前

1 トレンチ　西から

1 トレンチ　東から

2 トレンチ　西から

2 トレンチ　東から

2 トレンチ　撹乱部分

3 トレンチ　西から

3 トレンチ　東から

## 3　浄土寺遺跡

（1）所在地　　甲州市塩山上於曽1686番地

（2）調査面積　約60m$^2$

（3）調査原因　アパート建設のための試掘調査

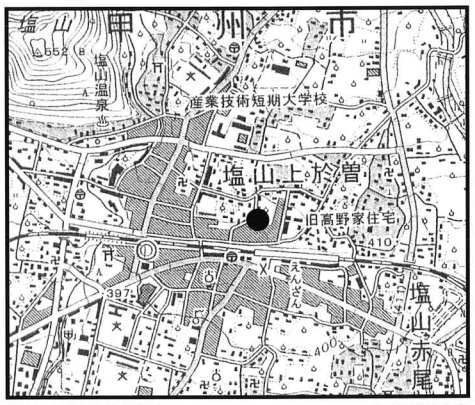
（4）調査期間　平成21年9月9日～平成21年9月11日

（5）調査結果

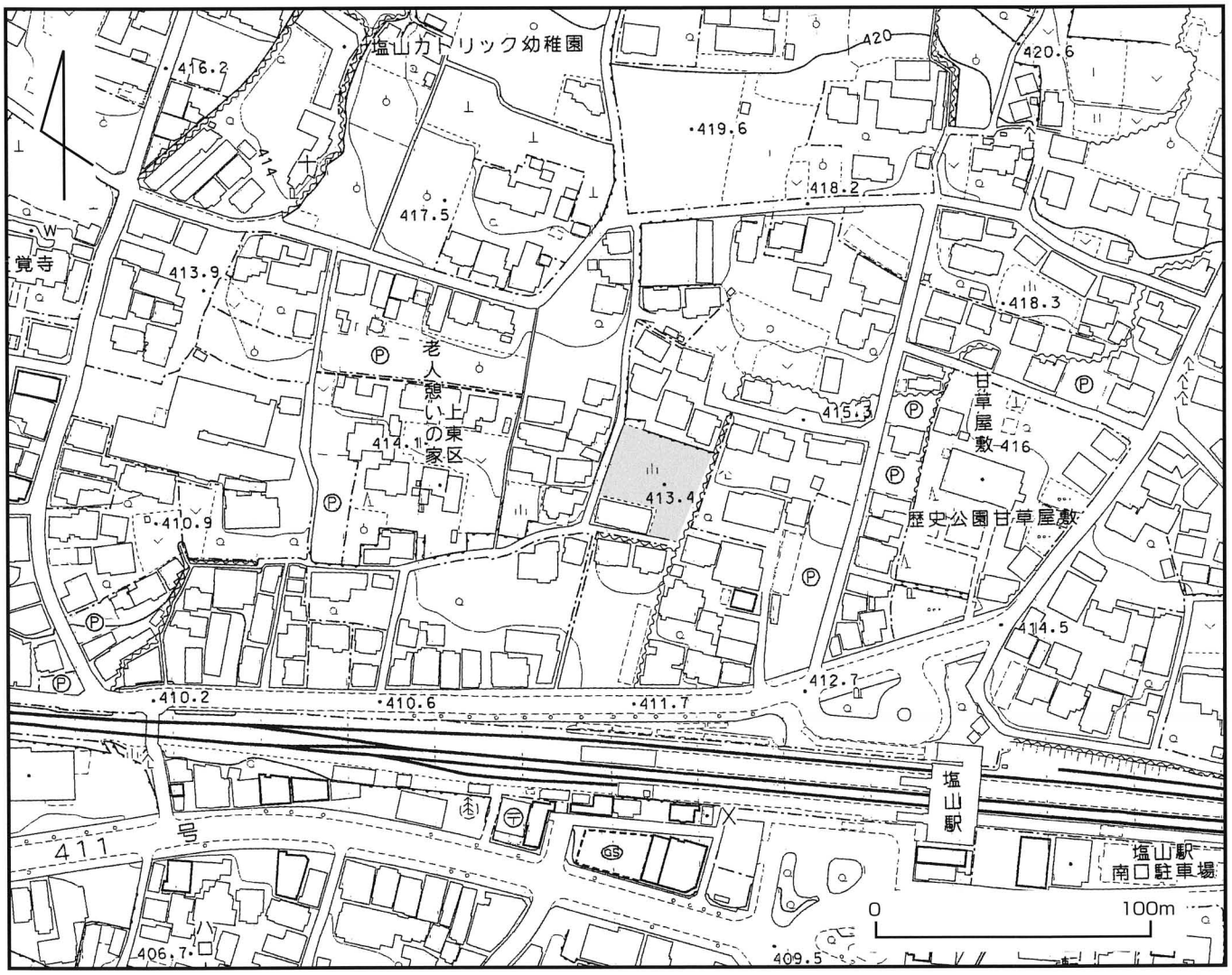
調査地は住宅密集地の中にある更地で、多少耕作されている程度の土地だった。ここにアパート建設の計画が立ち、建物建設部分について、試掘調査を行なった。

調査は南北方向に3本のトレンチを設定し、重機により掘削後人力にて精査した。

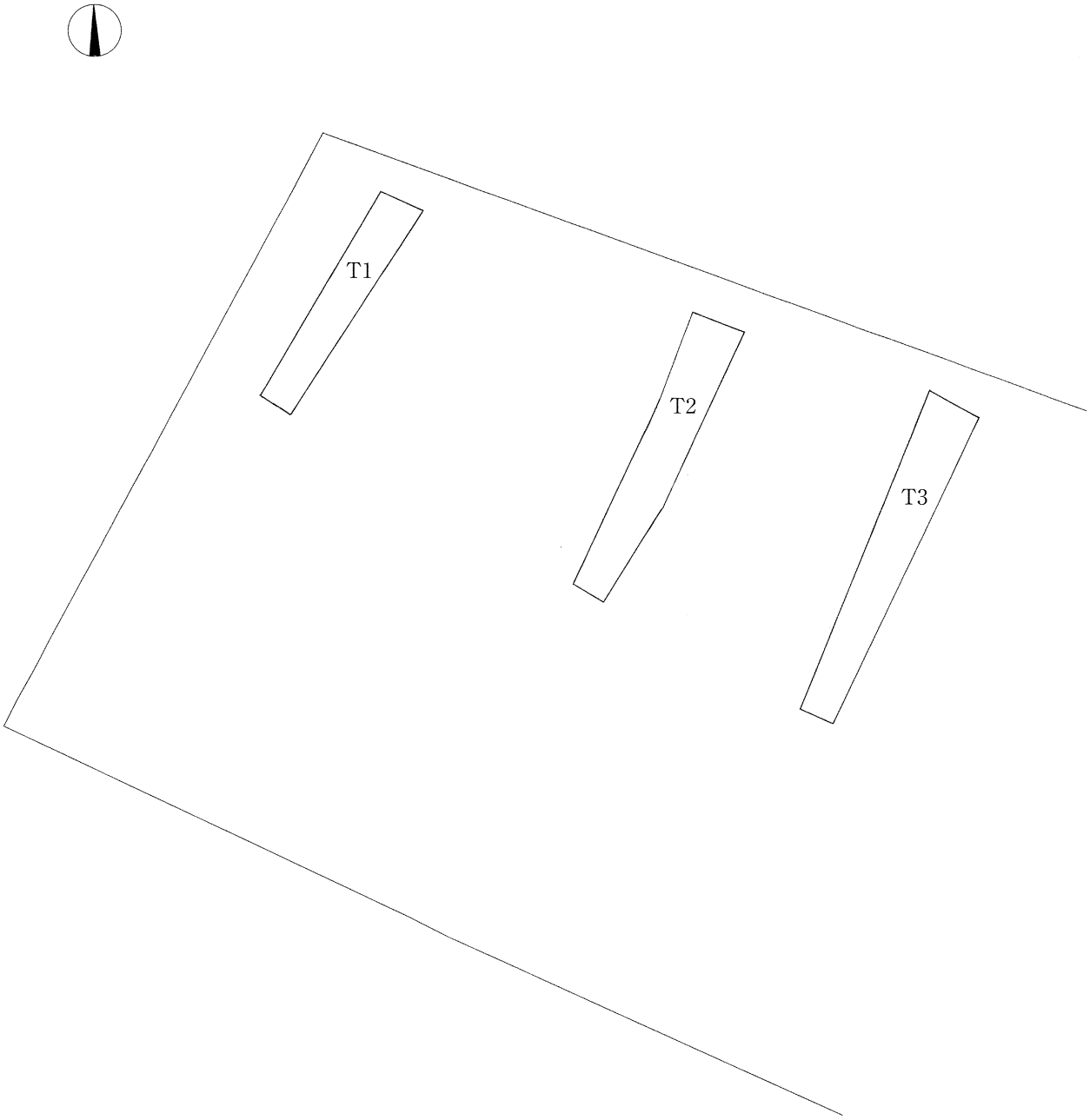
3本のトレンチとも砂層が検出されており、ごく小規模な河川が流れていたような状況が確認できたが、人為的な遺構・遺物は確認できなかった。




浄土寺遺跡位置図　1/25000




1/2500




浄土寺遺跡・試掘調査平面図　1/250

0　5m

調査前

調査前

調査前

1トレンチ　北から

1トレンチ　南から

1トレンチ　南側土層

2トレンチ　北から

2トレンチ　南から

2 トレンチ　南側集石

3 トレンチ　北から

3 トレンチ　南から

3 トレンチ　南側土層

埋め戻し

埋め戻し

埋め戻し

## 4　柳田遺跡

（1）所在地　　甲州市塩山上粟生野 1590番地の3、他

（2）調査面積　約25m$^2$

（3）調査原因　農道拡幅のための試掘調査

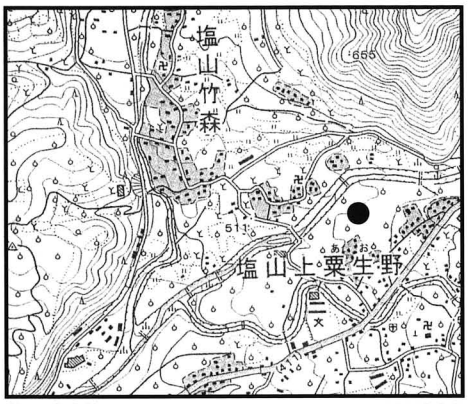
（4）調査期間　平成21年9月11日～平成21年9月15日

（5）調査結果

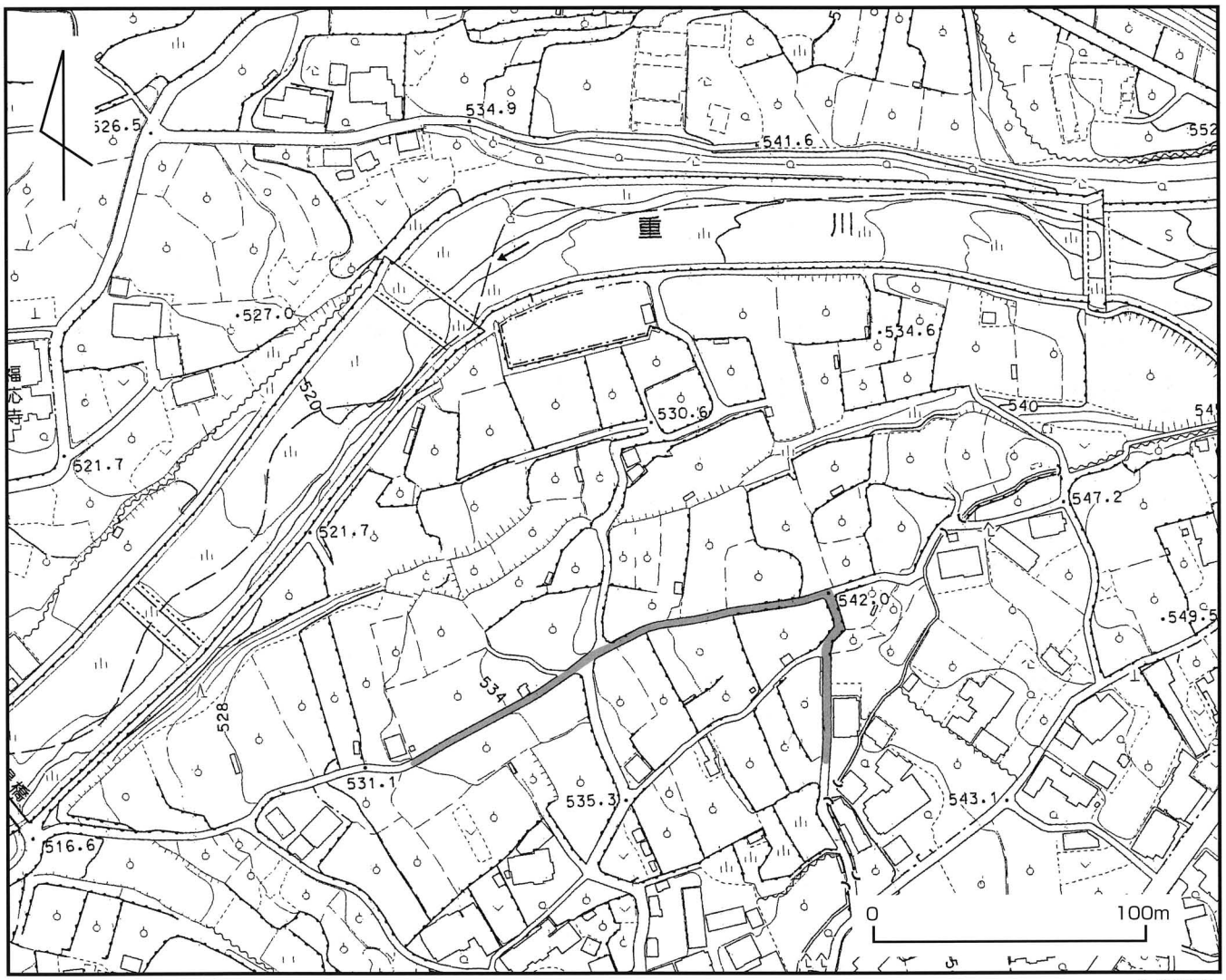
調査地は20年度に農道建設予定地の本調査を実施した柳田遺跡の近接地で、今回は農道の拡幅事業であるが、試掘調査ができそうな箇所を選び調査を行なった。

1×2mのトレンチを人力で掘削し、計8箇所を調査した。

遺構・遺物とも確認されなかった。




柳田遺跡位置図　1/25000




1/2500

柳田遺跡・試掘調査平面図　1/1000

0　20m

調査地

調査地

調査地

調査地

調査地

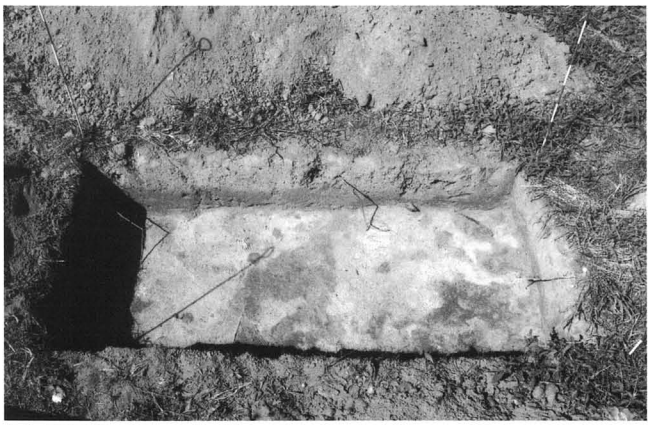
調査地

トレンチ１

トレンチ２

トレンチ３

トレンチ４


トレンチ５

トレンチ６

トレンチ７

トレンチ８

## 5　下萩原浅間塚

（1）所在地　　甲州市塩山下萩原 2450番地の1

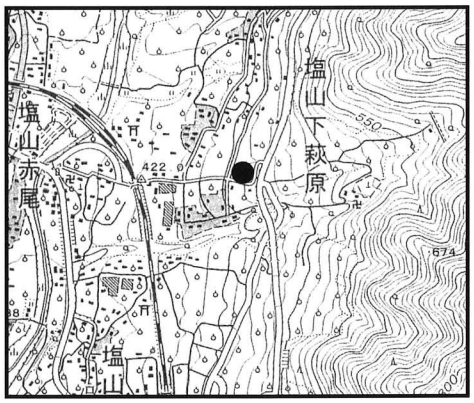
（2）調査面積　約80m$^2$

（3）調査原因　道路拡幅のための確認調査

（4）調査期間　平成21年10月27日～平成21年11月27日

（5）調査結果

下萩原浅間塚は古くから知られており、昭和10年の『甲斐志料集成』によれば基底周囲61m、高さ5m、頂径5m とある。昭和49年農道の拡幅に伴い、地域の人たちが和鏡を掘り出しており、和鏡の年代から平安時代末の塚と考えられる。和鏡出土時に一度平らに削ってしまい、その後再び土を盛り現状の塚とした、と地元では言われていた。



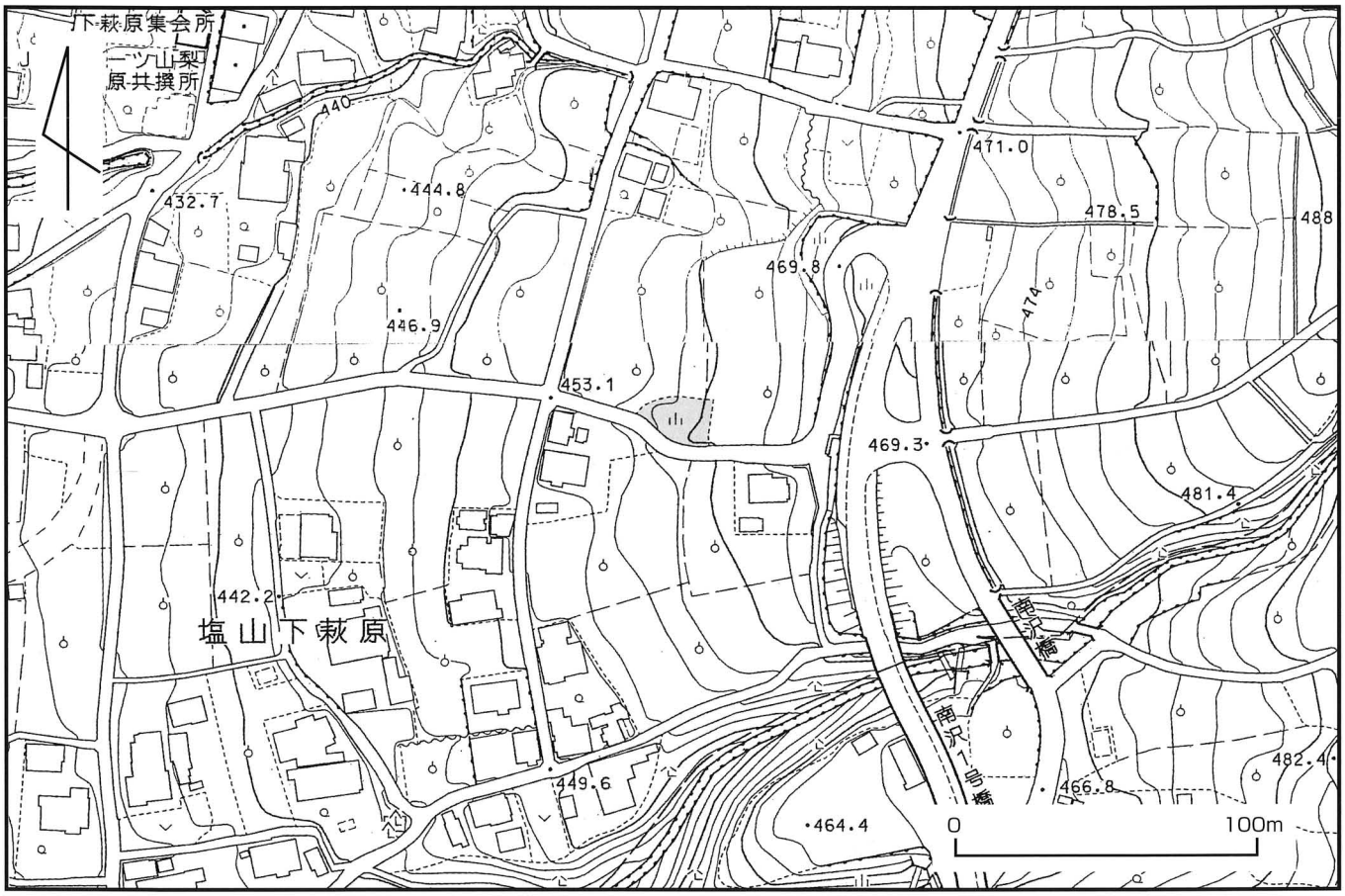
下萩原浅間塚位置図　1/25000

道路拡幅に伴い、塚に工事の影響がでるため、調査により塚の残存状況を確認した。

道路拡幅部分を重機により掘削し、その後東西方向に幅 50cm のトレンチを設定し、遺構・遺物の検出と土層の確認に努めた。

地元で言われている通り、現状の塚は49年に整地したあと盛土したもので、ビニールなどのゴミが混入されていた。整地の下には、数～ 10数 cm 厚の薄い層がみられ、もともとの浅間塚の残存部と考えられるが、西側は大きく撹乱を受けていた。

遺物は出土していない。



1/2500

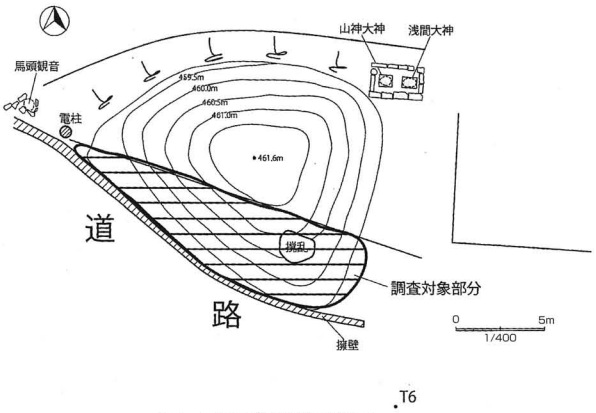



図１　下萩原浅間塚調査位置図

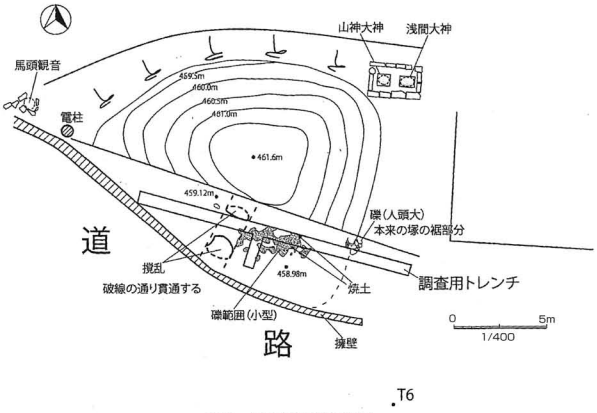



図２　浅間塚遺構配置図

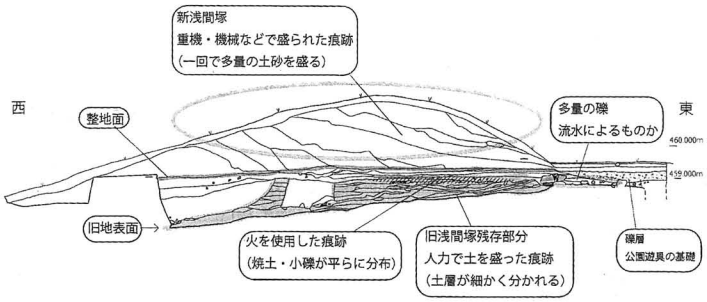



図３　浅間塚土層断面図

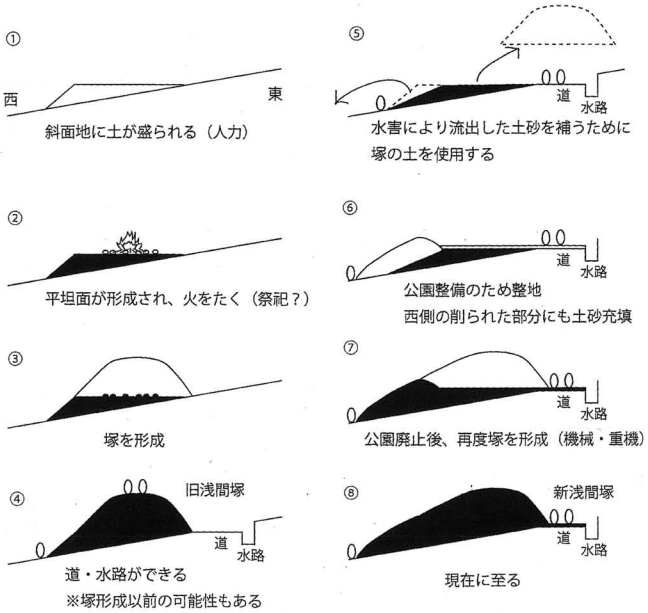
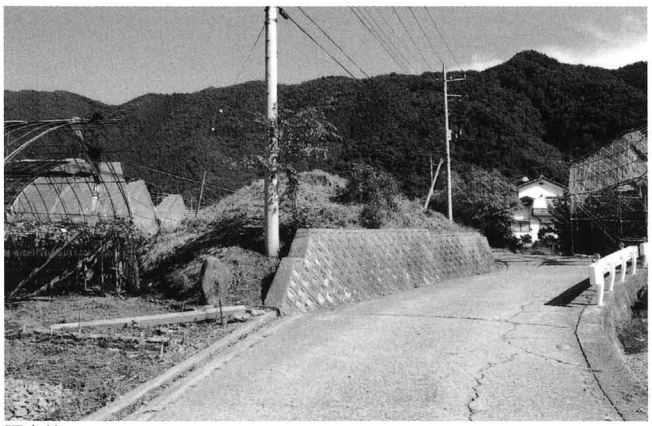
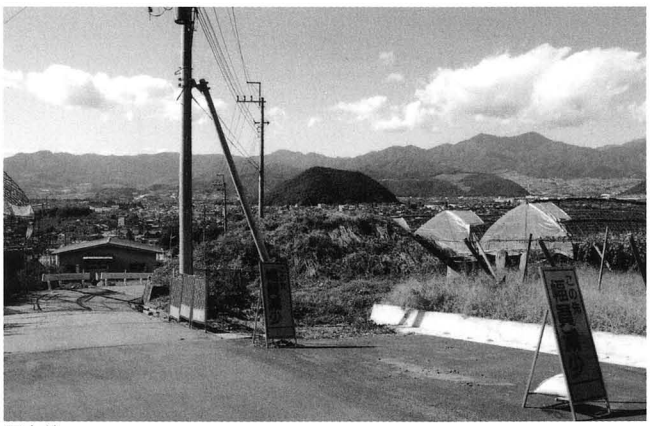


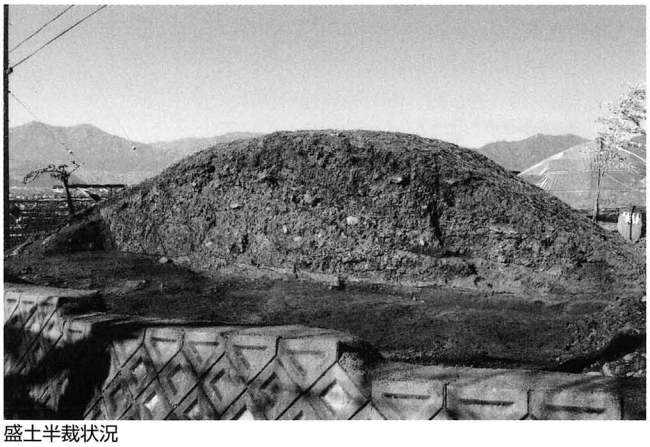

図４　浅間塚変遷模式図


調査前


調査前

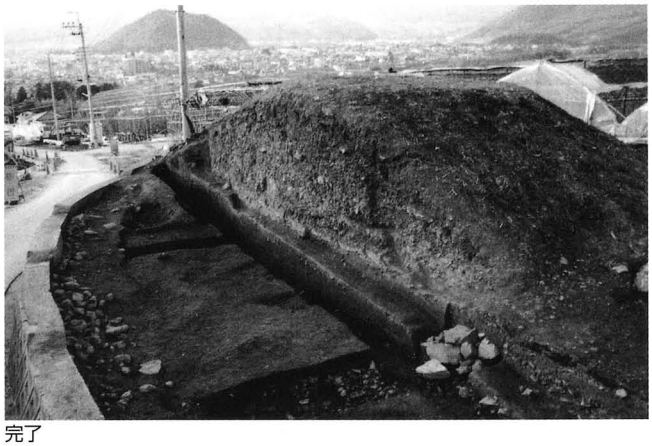
人力による掘削

重機による掘削


盛土半裁状況

遺構検出

焼土・小礫検出


完了

引渡し後

## 6　南原遺跡

（1）所在地　　甲州市勝沼町等々力 1207番地の1、他

（2）調査面積　約5m$^2$

（3）調査原因　農道拡幅のための試掘調査

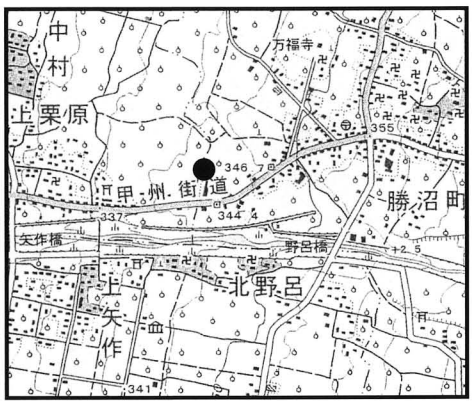
（4）調査期間　平成21年11月4日～平成21年11月6日

（5）調査結果

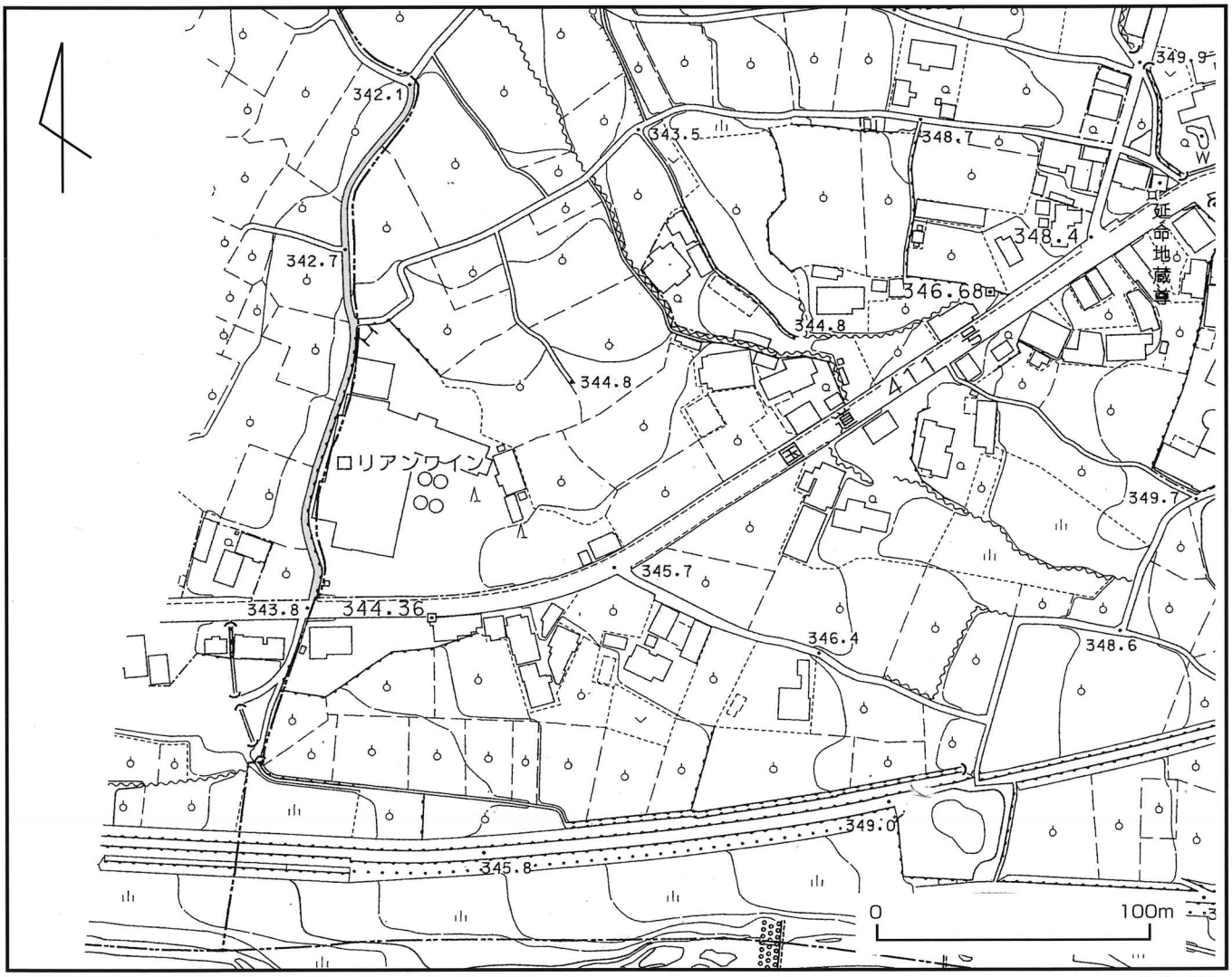
調査地はブドウ園で、地権者の話では過去の水害で流された場所であるとの事だった。

調査は農道の拡幅箇所について2ヶ所のトレンチを人力で掘削した。トレンチは1×2mである。

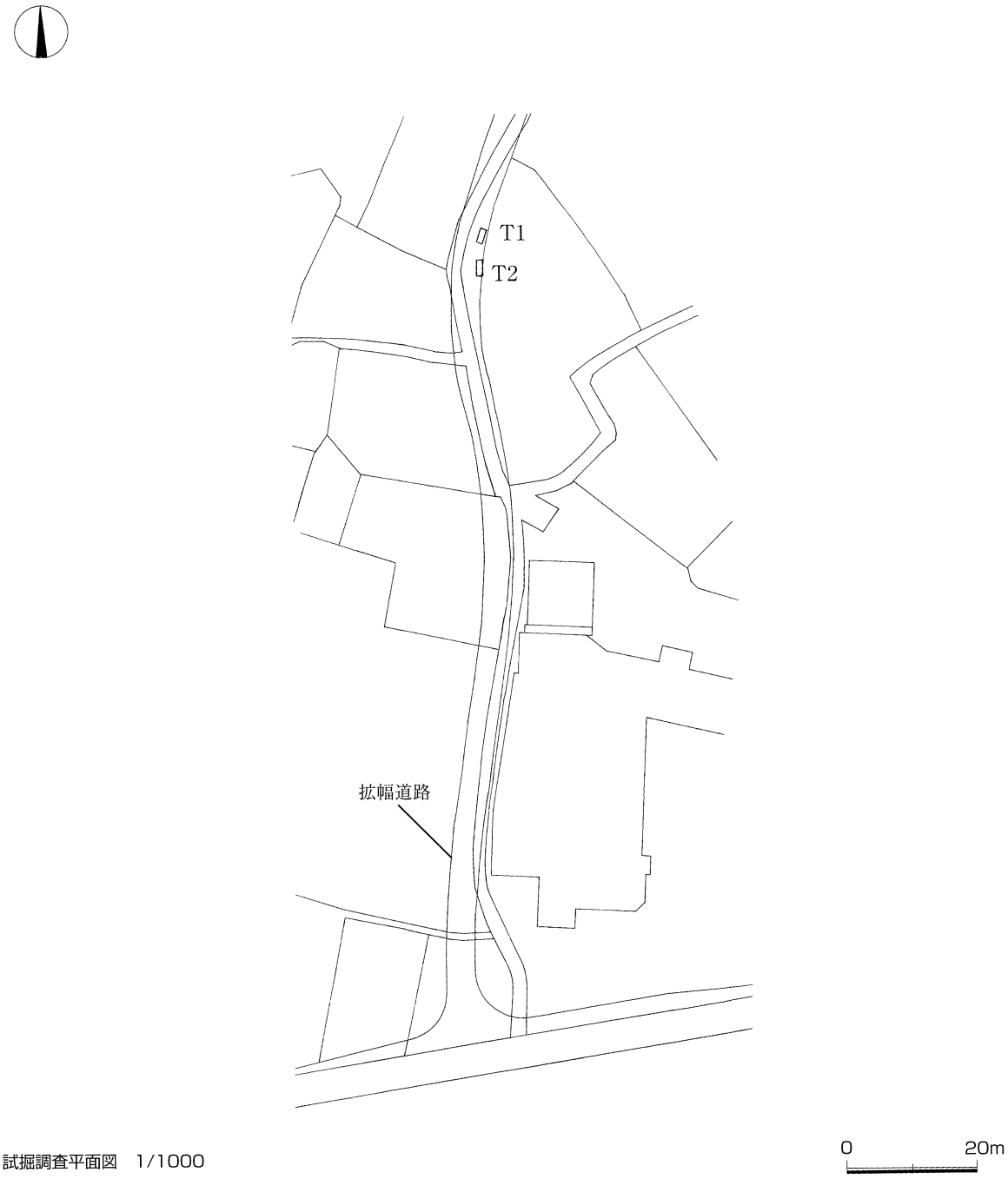
水害の話を裏付けるように、砂礫の層が厚く堆積している状態であった。遺構・遺物とも確認されていない。



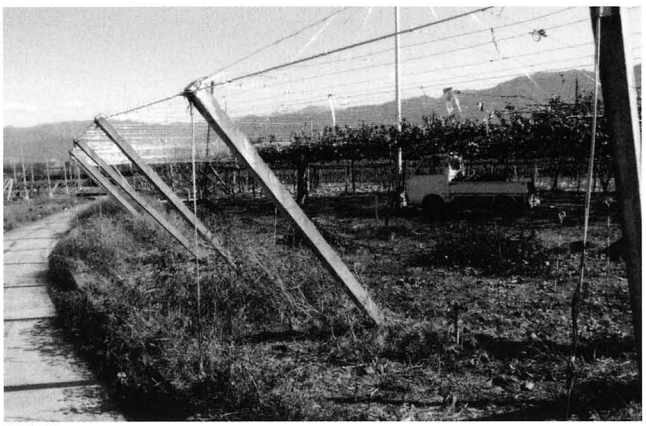

南原遺跡位置図　1/25000




1/2500



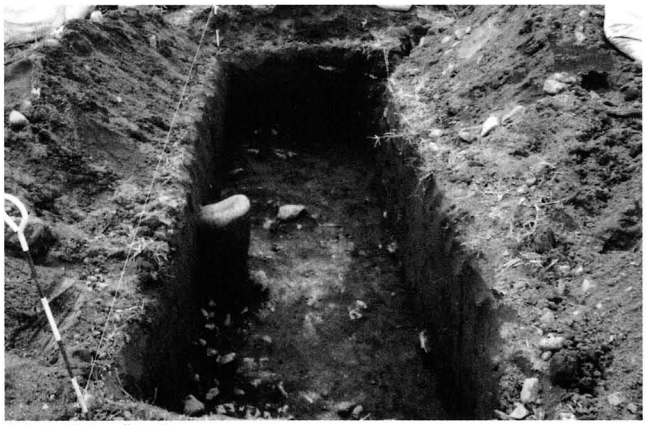

南原遺跡・試掘調査平面図　1/1000


調査前

調査前

調査前

トレンチ１　南から


トレンチ１　北から

トレンチ１　土層断面

トレンチ２　南から

トレンチ２　北から

トレンチ２　土層断面

## 7　千手院前遺跡

（1）所在地　　甲州市塩山上塩後1200番地の1

（2）調査面積　約100m$^2$

（3）調査原因　分譲住宅地造成のための試掘調査

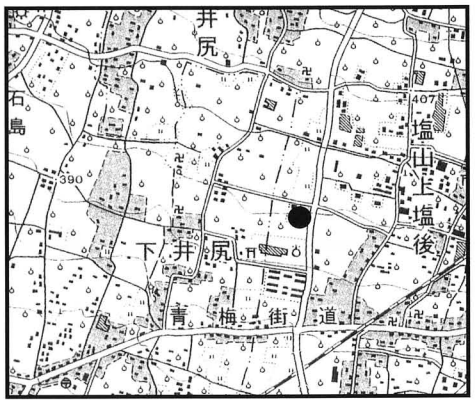
（4）調査期間　平成21年11月10日～平成21年11月25日
　　平成21年12月24日～平成22年1月20日

（5）調査結果

調査地は耕作されていない果樹園で、東は都市計画道路と接している。ここより北側に、過去数回発掘調査を行なった千手院前遺跡があり、事前に試掘調査を行なった。

調査は重機により東西方向のトレンチを2本設定し、その後人力で精査し遺構の検出に努めた。

北側のトレンチ1からは不定形な黒色土の落ち込みが検出され、若干の土器が出土した。また、南側のトレンチ2からも落ち込みが検出され、少量の土器も出土したが、落ち込みの正確が判らず、遺構かどうか判断できなかった。

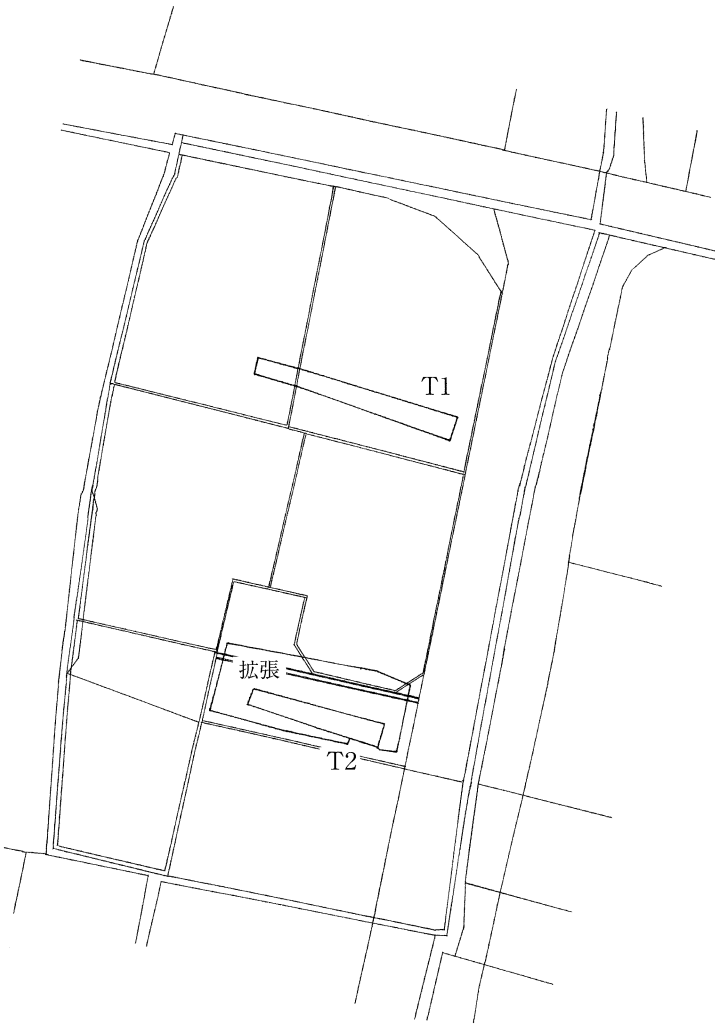


千手院前遺跡位置図　1/25000

そのため、トレンチ2の周辺を広く排土し、遺構の検出を行なったが、状況的には水田の黒色土が所どころ落ち込んでいるような感じだった。

若干の土器は出土したが、遺構の検出には至らなかった。

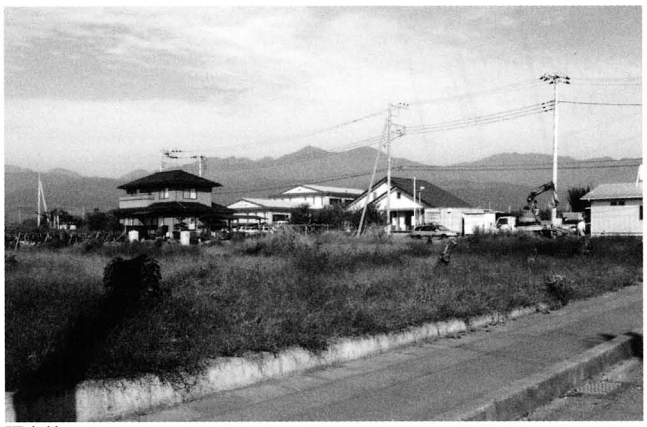
1/2500




千手院前遺跡・試掘調査平面図　1/500

調査前

調査前


調査前

トレンチ１　西から

トレンチ１　東から

トレンチ２　東から

拡張区完掘　西から

拡張区完掘　東から

拡張区完掘　西側

## 8　日川水制

（1）所在地　　甲州市勝沼町下岩崎

（2）調査面積　約2m$^2$

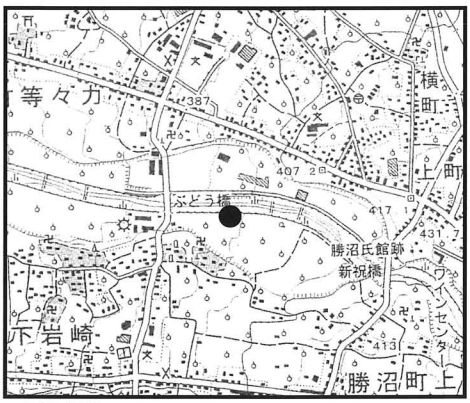
（3）調査原因　河川に沿った水路整備に伴う日川水制群の清掃調査

（4）調査期間　平成21年12月7日～平成21年12月8日

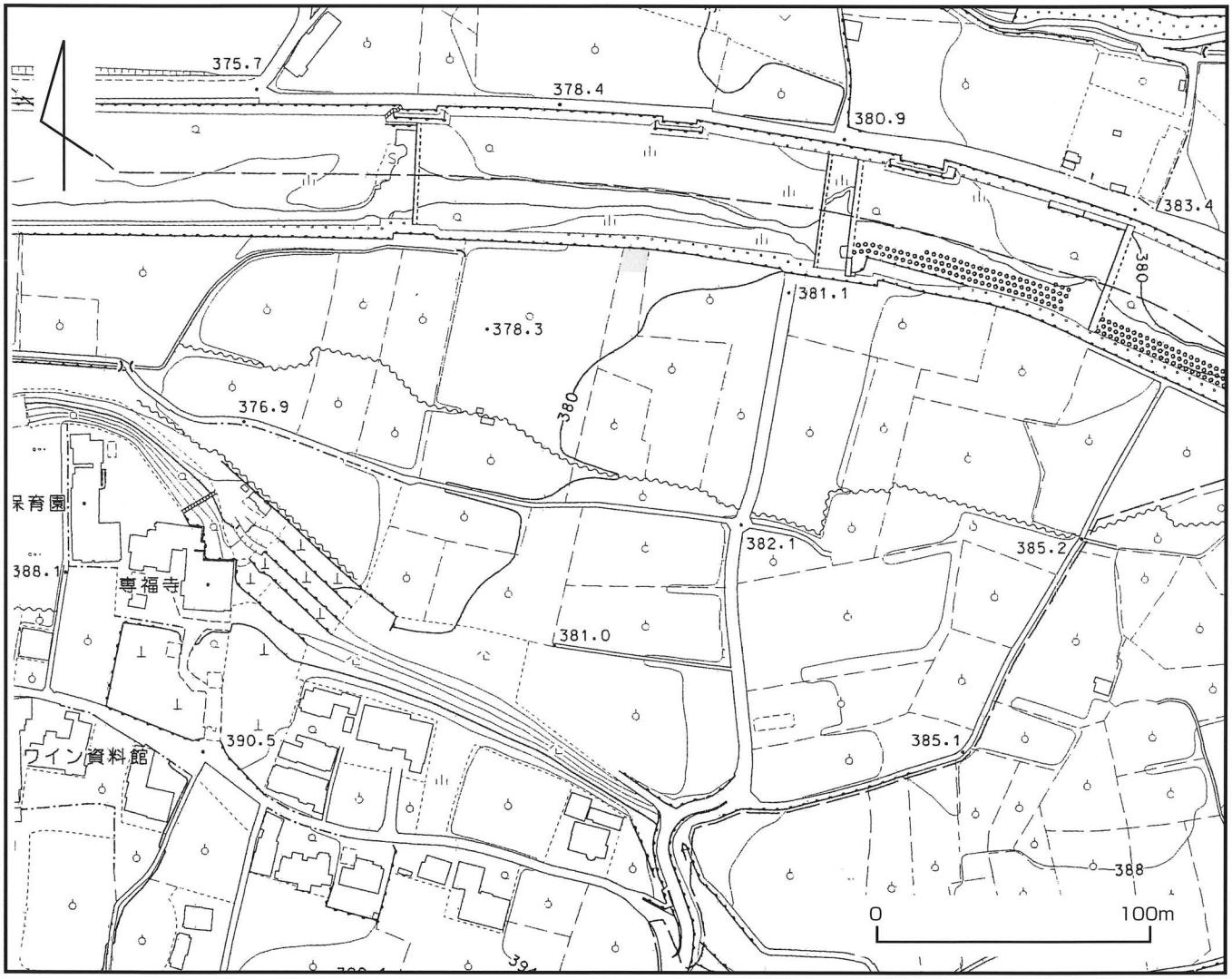
（5）調査結果

日川水制群は、明治の大水害の後に日川沿いに築かれた水制石積みである。県事業として日川沿いに水路整備を計画したが、予定地に水制が1カ所かかるため、清掃および調査を行なった。

石積みの上面は幅4mほどあり、一部を近接地に復元整備を行なうこととした。




日川水制位置図　　1/25000




1/2500

調査前

調査前

調査中

水制検出　北から

水制検出　東から

水制検出　部分

## 9　下於曽八反田遺跡

（1）所在地　　甲州市塩山下於曽 1256番地

（2）調査面積　約30m$^2$

（3）調査原因　社会福祉法人が計画する地域密着型介護福祉施設新築のための試掘調査

（4）調査期間　平成21年12月4日～平成21年12月8日

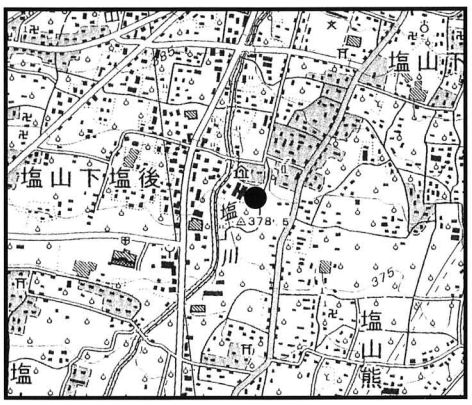
（5）調査結果

調査地はもと果樹園であったが、長年耕作されておらず、また、広範囲にわたり掘削・削平されていた。

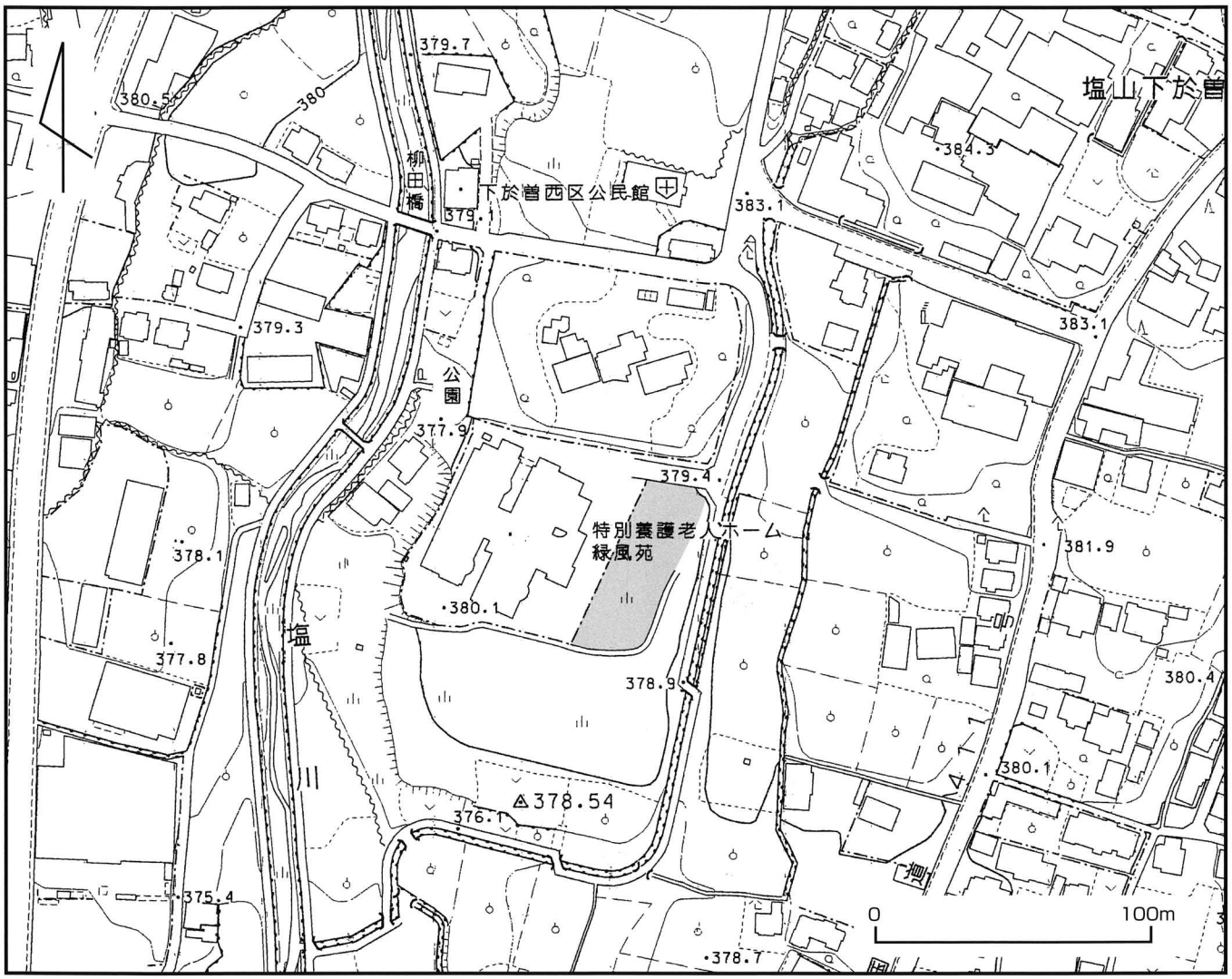
ここに介護福祉施設の建設計画が上がったため、建物の範囲内に重機により東西方向のトレンチを3本設定し、精査した。

いずれのトレンチも、50cm ほどで粘土層に達し、水が湧いてくる状態であった。また表土も掘削の影響できわめて薄く、瓦などの建築廃材が多く混入されていた。

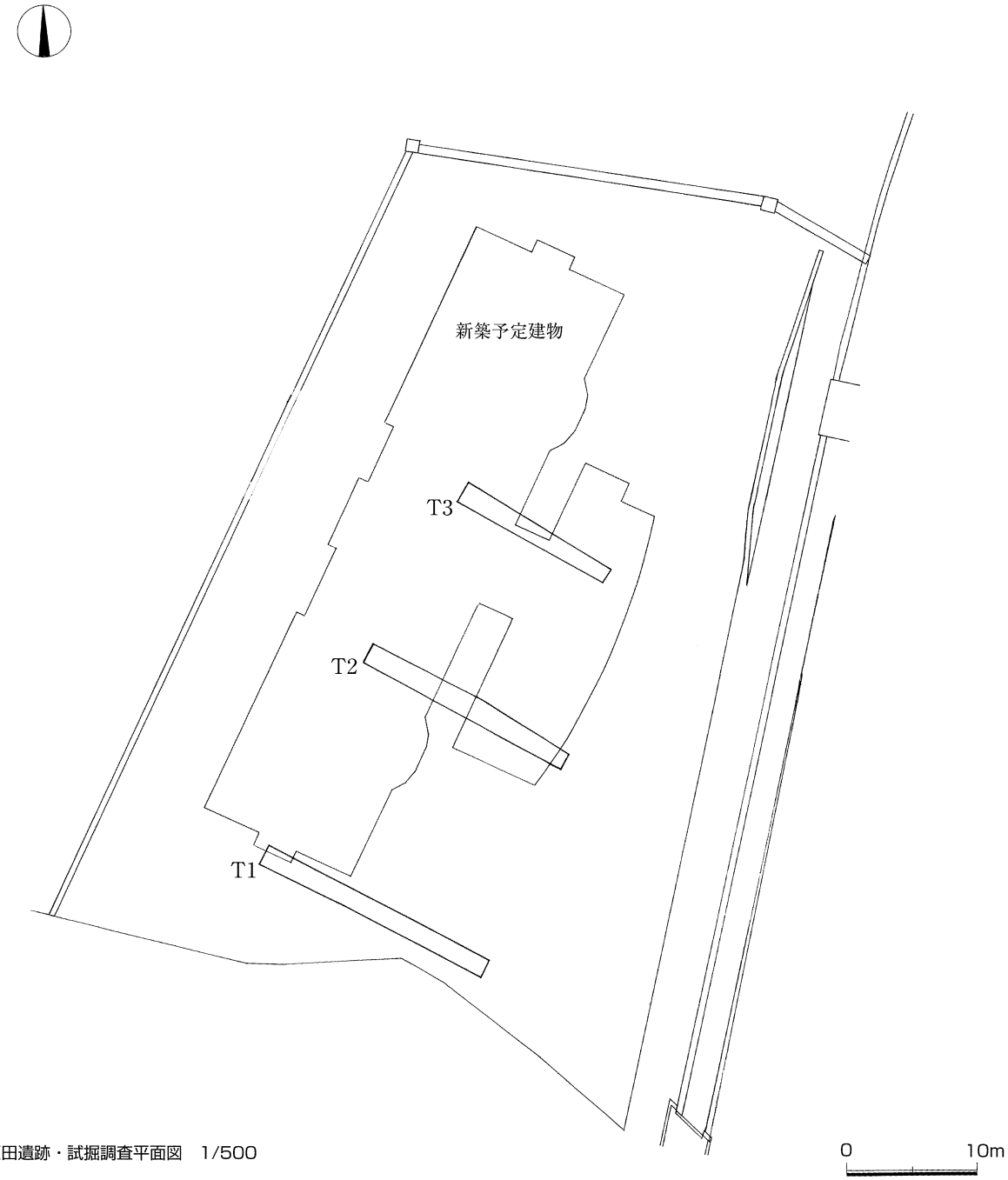
遺構・遺物とも確認されなかった。




下於曽八反田遺跡位置図　1/25000




1/2500




下於曽八反田遺跡・試掘調査平面図　1/500

調査前

調査前

調査前

トレンチ１　西から

トレンチ２　西から

トレンチ３　西から

## 10　安道寺遺跡

（１）所在地　　甲州市塩山下粟生野 1169番地の１

（２）調査面積　約9m$^2$

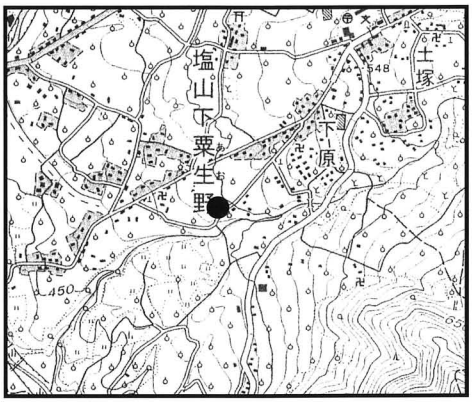
（３）調査原因　耕作時に土器が大量出土したため緊急的な発掘調査

（４）調査期間　平成21年12月7日～平成21年12月22日

（５）調査結果

安道寺遺跡は昭和51年に畑地灌漑用水路工事に伴い発掘調査された、縄文時代中期の遺跡である。

平成21年11月28日に、近くの畑の所有者がスモモの木を抜根したところ、多量の縄文土器が出土したため、県埋蔵文化財センターを経由して市教育委員会に連絡した。この場所は、昭和51年に調査した場所から北へ30mほどのところにあり、同一集落である可能性が高いため、地権者の同意のもと抜根した箇所が入る3m四方について発掘調査を実施した。

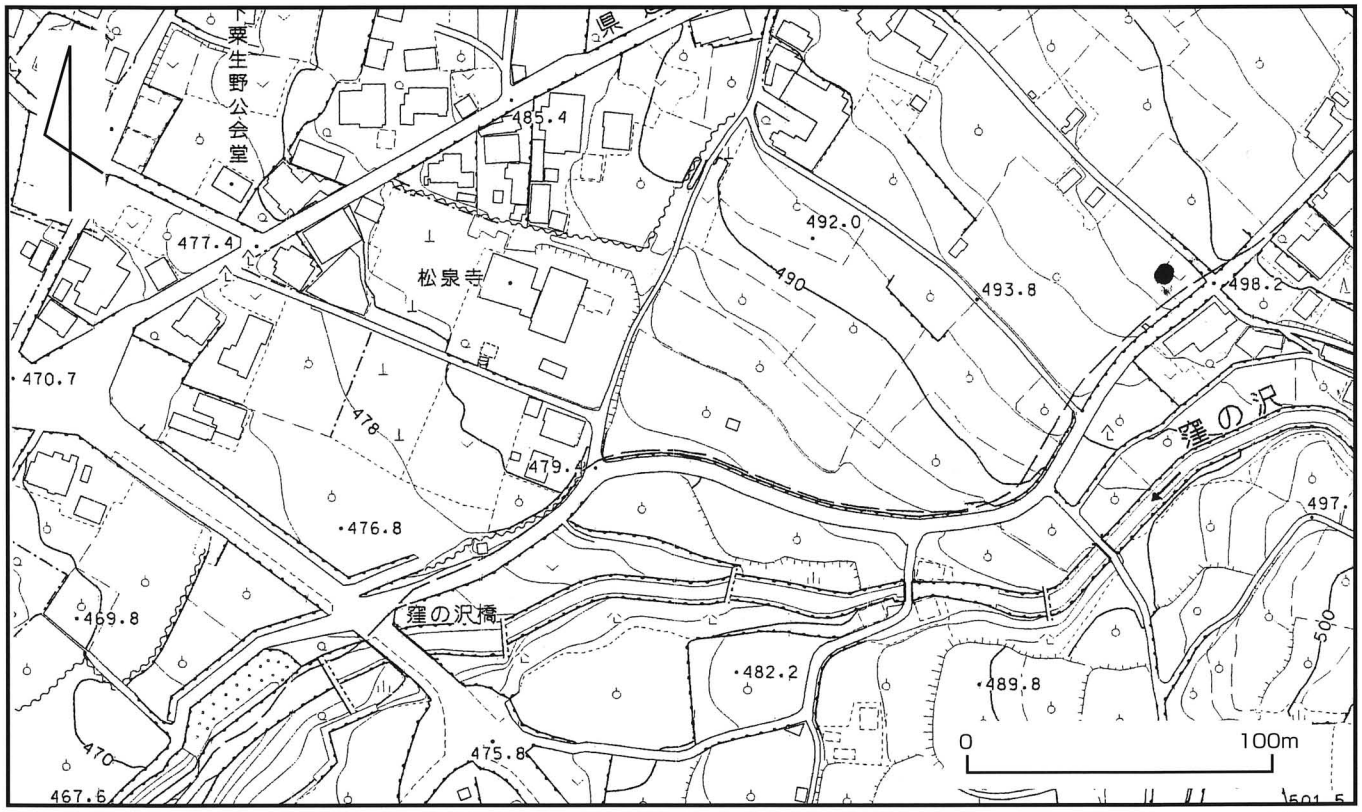


安道寺遺跡位置図　1/25000

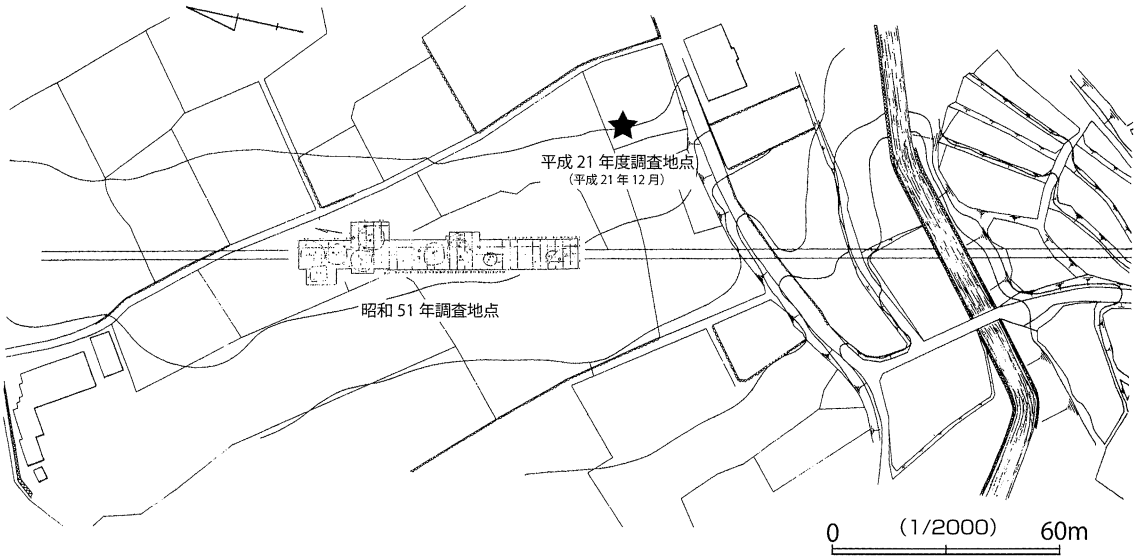
表土は非常に厚く、遺構面まで1mほどと深い。調査の結果、縄文時代中期の竪穴住居址の周溝を2条検出した。2軒の住居址が重なっていると思われる。

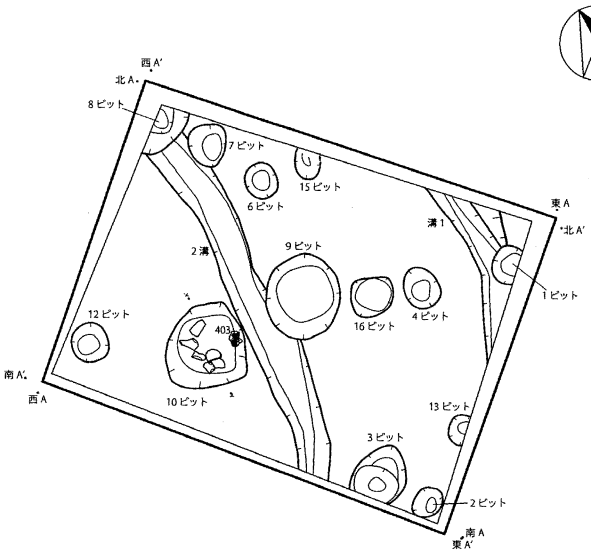
出土遺物は非常に多く、土嚢袋20袋程度出土した。このうち住居址床面近くの一群は残りがよく、個体復元できそうである。

一部の土器は取り上げができず、とりあえず埋め戻しを行なったが、22年度に再度発掘調査を行なう予定である。

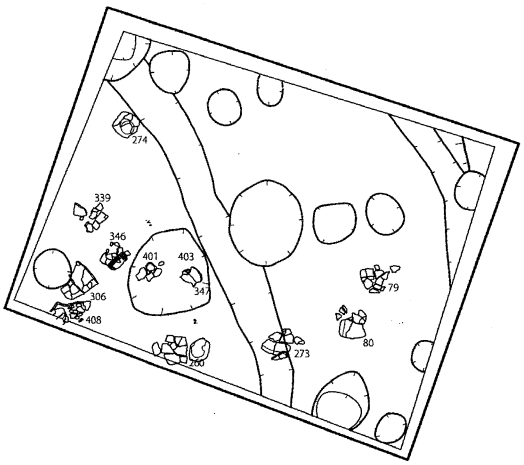


1/2500



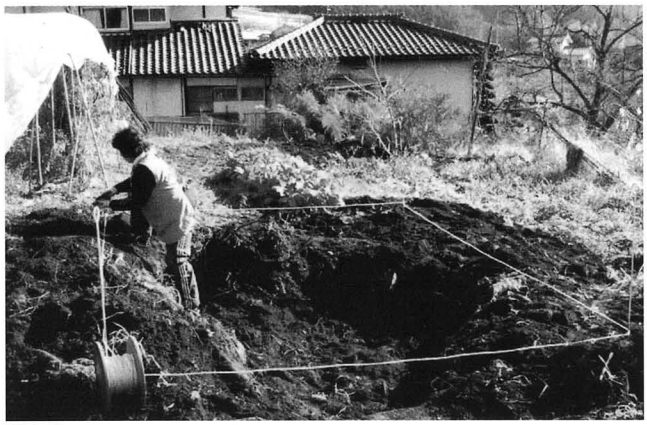

遺構配置図




遺物出土状況図
※復原可能個体に限る

安道寺遺跡

（1/60）
0　1m


調査前

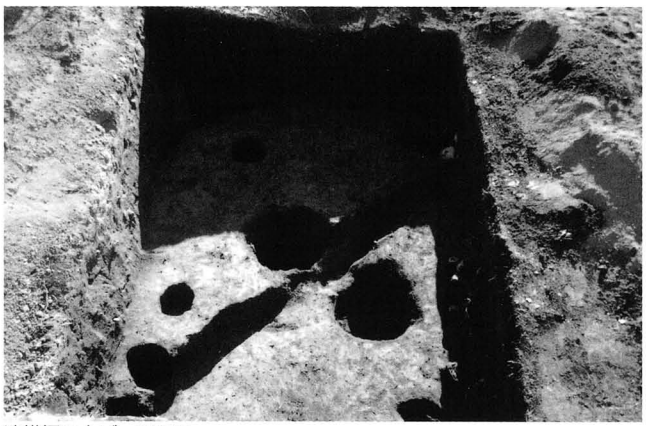
調査中

土器出土状況

土器出土状況

土器出土状況

遺構検出　西から


遺構掘り上げ　西から

埋め戻し

埋め戻し

# 報告書抄録

報告書概要

| | |
|---|---|
| ふりがな | しないいせきはっくつちょうさとうじぎょうほうこくしょ |
| 書名 | 平成21年度　市内遺跡発掘調査等事業報告書 |
| シリーズ名 | 甲州市文化財調査報告書　第９集 |
| 編著者名 | 甲州市教育委員会　飯島　泉 |
| 発行者名 | 甲州市教育委員会 |
| 編集機関 | 甲州市教育委員会　生涯学習課　文化財担当 |
| 所在地・電話 | 〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曽 1085-1　電話 0553-32-5097 |
| 印刷所 | 株式会社ケイ・トゥー・ワン |
| 発行年月日 | 2011年　3月31日 |

平成21年度 市内遺跡発掘調査等事業報告書
印刷日 2011年3月31日
発行日 2011年3月31日

発行所　甲州市教育委員会
山梨県甲州市塩山上於曽 1085-1
TEL 0553-32-5097
FAX 0553-32-5172
印刷所　株式会社ケイ・トゥー・ワン
山梨県甲府市国玉町 115
TEL 055-22-4021
FAX 055-22-4018

甲州市文化財報告書　第9集

平成二十一年度　市内遺跡発掘調査等事業報告書

二〇一一年三月

甲州市教育委員会